

TRICOLOR

大会・公式戦結果

Top

【県リーグ(KSL-1)】

▼第6節

vs S.C.相模原 0-2●

Youth

【KCY リーグ】

vs FC インフィニット相模原 1-1△

vs FC Balzo 1-5●

vs 今市アルシオーネ 不戦勝○

vs つくば FC 1-4●

【県 U-18 リーグ】

vs 聖光学院 0-1●

vs 港北高校 0-1●

vs 翠嵐高校 0-3●

【県 CY リーグ】

vs FC 川崎栗の木 0-3●

Junior Youth

【県 U-15 リーグ】

vs 横浜市立戸塚中 6-1○

vs 横浜市立松本中 1-0○

【高円宮杯県大会】

▼1回戦

vs 開成町立文命中 5-2○

▼2回戦

vs 横須賀市立衣笠中 2-5●

小6

【耕余杯】

▼グループリーグ

vs 明治 SSS 1-1△

vs 葉山 JGK 0-2●

▼2位トーナメント1回戦

vs FC 湘南天神 3-2○

▼2位トーナメント準決勝

vs FC 西柴 1-1PK9-8○

▼2位トーナメント決勝

vs 大道 SC 1-1PK3-5●

24チーム中第10位

小4

【緑杯】

▼グループリーグ

vs 折本 SC 3-6●

vs FC 緑 1-4●

▼5位決定戦

vs ポアソルチ 3-2○

小2

【緑杯】

▼グループリーグ

vs 三保小 SC 0-2●

vs 横浜東 SC 0-1●

▼5位決定戦

vs FC 緑 8-0○

Papas

☆Rec

【県シニアリーグ四十雀4部】

vs 平塚 0-2●

☆Comp

【県シニアリーグ四十雀2部】

vs 多摩クラブ 2-2△

☆O-40

【市シニア交歓試合】

vs 神工 OB 4-1○

今、グラウンドでは・・・

Top

【県リーグ/vs S.C.相模原】

県リーグ戦は第6節を行いました。

8月1日(日)しんよこフットボールパークでのS.C.相模原との試合は0-2(前半0-2)で敗れました。

対戦相手のS.C.相模原は、県リーグにありながら、すでにJリーグ準加盟が認められている強豪チームです。その相手にどこまでできるか、また、リーグ後半戦に向けてどこまで戦えるか、かながわクラブにとって重要な戦いでした。

試合序盤は田村監督の采配が当たり、攻められながらもボールを奪いに行くところを明確にし、一気に攻めてくる相手に対して、攻撃を遅らせる、攻撃を切ることが徹底され点数を許しませんでした。しかし運動量が落ちた前半40分に左サイドを崩されてクロスを合わせられ失点、さらに前半終了間際に今度は右サイドからミドルシュートを決められ2失



点。後半に入ると、さらに追加点を奪いに来る相手に対して、かながわクラブも反撃を開始、惜しいシュートチャンスもありましたが、お互いに無得点で終了。

スコアだけを見れば 0-2 でしたが、それ以上に実力の差はありました。しかし、何が起るか分からないのがサッカーです。前半終了間際に立て続けに喫した 2 失点が悔やまれますが、後半 45 分間無失点に抑えたことは、自信を持っていると思います。

また、S.C.相模原の大応援団に負けないくらいのかながわクラブサポーターに集まっていたら、遅ればせながらお礼を申し上げます。特に、ジュニアユース選手たちのブブゼラでの応援は最高でした！県のアマチュアレベルのチームが、これだけの観客の前で試合ができたことは、選手たちにとって大きな財産になります。また、冷静に見ても、大勢のサポーターの方々に見ていただくことによって、選手たちも実力以上の力を発揮します。

次の県リーグは、9月5日(日)横浜猛蹴戦、9月12日(日)さがみ大沢 FC 戦です。チームは再び1部残留争いをしていますが、残りの試合を全勝し、見に来ていただく皆様にも気持ちよく観戦していただけるようにがんばりたいと思います。(中本 洋一)

Youth

4月から続いていた一連の公式戦が一段落しました。依然なかなか勝っていないため、選手たちは自信を失っているのかもしれませんが、やろうとしていることは決して悪くなく、なかなか結果に結びついていないのが現状です。

直接指導してくれている田中孝司さんにコメントをもらいました。

(内田 佳彦)

2月の就任以来、シンプルにボールを動かすサッカーを目指してきましたが、今までそういった習慣のなかった選手たちが多かったようで、それが負担になっているのかもしれませんが。

意識はしていても、試合になるとできなくなってしまうことが多々あり、それ

は単純に技術の欠如といっても過言ではありません。やろうとしていることは良いのですが、いざ試合になるとあわててミスを繰り返してしまう。つまり、知識はあってもそれができないのが現状です。

ステップアップするためには、単純な、止める・蹴る・走るといったことのレベルを上げなければいけません。

ボール扱いや走ることは一人でもできることです。ただでさえ高校のサッカー部と比べて練習量が不足しています。毎日少しでもボールを蹴る習慣と、日々の走りこみは欠かさないでほしいものです。

Junior Youth

【個人面談】

6月より実施していた保護者・選手本人・担当スタッフによる「個人面談」は、7月末までに全員が行い、無事に終了することができました。お忙しい中、スケジュールを調整していただいた保護者の皆さまのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。今回皆さまからいただいた意見をもとに、できるところは改善をして、選手たちがより良い環境で活動に取り組むことができるよう努力していきます。

【県 U-15 リーグ】

全5試合中、4試合を終え、3勝1分け。8月末時点で6チーム中2位につけています。残り1試合の結果次第で、グループ1位となり、次ステージからの1部昇格が決まる可能性を残している状況です。なお、この試合は、9月23日(木/祝)に行われる予定です。

【夏休み】

3泊4日の中伊豆合宿(6試合)からスタートして、県 U-15 リーグ(2試合)、綾瀬サマーフェスタ(6試合)、表丹沢招待 U-15 大会(4試合)、その合間に練習試合(3回)、そして、終盤には目標としていた「高円宮杯(2試合)」と、夏休み期間は精力的に試合を行いました。

選手たちは、だいぶ変わってきたと思います。それによりチームも更に良い方向に向かってきている印象です。まだま

だ満足できる状態ではありませんが、着実に前進しています。この夏の経験を糧にして、さらなる躍進を目指して欲しいと思います。

また、この夏休み期間、中伊豆合宿時には、昨年に引き続き、宮崎君のおじいちゃんおばあちゃんが、大量の冷えたスイカを差し入れてくれたり、練習試合時には達山君のお母さんがアイスの差し入れをしてくれたり、保護者の皆様方からサポートをしていただきました。そのおかげもあって、選手たちは、猛暑の続く今年の夏休み期間を無事に終えることができました。この場を借りて、選手・スタッフ一同、心よりお礼申し上げます。

【高円宮杯】

1回戦を逆転勝利で突破したものの、残念ながら2回戦での敗退となりました。猛暑や遠方の会場と、条件が悪く、2週にわたり応援に来ていただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。

【今後について】

4月の新シーズンスタートからチームのテーマである「アクション」と「リアクション」を、さらに質の高いものにしていき、サッカーに対して貪欲になれる選手育成を、選手とともに進んでいけるようにと考えています。保護者の皆さま、お時間のある時は、是非、選手の成長を観に来てください。今後行われる予定の試合は、下記のとおりですので、参考にしてください。(河原 昌司)

09/10 県 U-15 リーグ	9/23(木/祝)予定
横浜市長旗杯区予選	9月最終週頃～
10/11 県 U-15 リーグ	10/2(土)～12/19(日)

小 6

春先から、「自分のことは自分でやましよう」と再三にわたってインフォメーションしてきましたが、荷物の準備やその管理の場面で、いまだに首を傾けなくなるシーンに遭遇することがたびたびあります。先日の三浦遠征合宿の時も、ユニフォームの取り違い(持ち物には記

名しましょう)が発生したり、宿舎から試合会場まで出かける際にセカンドユニフォームの準備を忘れ、二日目の練習試合に出られなかった選手が出るなど、まだまだこの手の失敗が数多く見られます。他人事だと思わず、今一度、自己管理について考えてみてください。

また、管理ということと言うと、そろそろ体調管理を意識した食事についても、君たち自身で考えなければいけない時期にきているのだと思います。

《良いパフォーマンス＝ 動機付け(モチベーション)×トレーニング×栄養×休養》

このような式を見るまでもなく、運動と食事と睡眠のサイクルを体の中に入れておくことは、スポーツ選手にとって基本中の基本と言えるでしょう。そういった当たり前のことがきちんとできる選手を目指して、まずは簡単なことから始めてみましょう。

①しっかりごはんを食べましょう！(サッカーの前には、エネルギー源となる炭水化物を多く取り、脂質を減らすこと)

②早寝・早起きをしましょう！

(鈴木 章弘)

小 5

【夏休みの反省】

夏休みも終わり、小学生のみなさんは学校が始まったと思いますが、夏休みの良い思い出は作れましたか？？私は、少ない休みの合間を縫って友人宅でBBQ・津久井湖付近の溪流に釣りに行ったのが一番の思い出です。

夏休み前のトリコロールで、「夏休みの予定を立てて行動しましょう」と書きましたが、実行できましたか？？

今回は、あえてサッカー以外のことで宿題を出してみました。今回の狙いは、できた人・できなかった人もいると思いますが何事もまずはチャレンジすることの大切さを知るため・計画を自分で練って実行する行動力を養うために宿題を出しました。

できた人は、これを継続して今後も続けられるように努力する。できなかった

人は、できなかった原因を探してできる様に努力する。

あれ・・・？普段のサッカーの練習中に言われていることと同じですね！！(笑)

【NHK 杯について】

9月中旬から NHK 杯が始まります。NHK 杯は、横浜市の各区の代表チームが集うレベルの高い大会です。選手の皆さんは良い結果が残せるように一回一回の練習を集中して取り組みレベルアップできるように心がけてください。

また、NHK 杯は登録人数・試合数に限りがあるため、選抜制を採用させていただきますことをご了承ください。よろしくお願いたします。(丸山 祐人)

小 4

【「今日も熱中症にご注意ください！」】

このフレーズを毎朝テレビの天気予報で聞き続けています。おまけに「今日は(も)猛暑日、原則運動は禁止です！」とのコメントも。それを横目に「行ってくるぜ」とサッカーに出かけていく愚息たちを見て、気休めに日焼け止めとシーブリーズを持たせたくなる今年の夏でした。

【「つらかった? 楽しかった!？」】

昨年の今頃も書きましたが、特に夏場の試合や合宿などで経験する厳しさを乗り越えた「強さ」が成長に繋がるものと思っています。幸い4年生の子供たちもこの夏にいろいろな経験が出来ました。7月は招待試合、練習試合を数度、8月には6年生と一緒に1泊2日で三浦遠征に出かけました。招待試合(緑杯)ではメダルや賞品も目標にがんばり、兵庫から遠征にきた芦屋 SC との練習試合ではマリノスタウンのすばらしい環境で関西弁のプレッシャーに押されながら(笑)の対戦も楽しめました。三浦は初の宿泊遠征、サッカー以外の面でも仲間と協力することの大切さも経験できました。

【いよいよ】

さて。この夏の経験も糧に秋の公式戦(国チビ)に臨みます。春季大会同様2チーム登録しますが、今回は「意欲・意識(取組姿勢)、理解度、技術」を基準にA・Bチームに分けます。春季大会以降子供たちには「一生懸命がんばる」ことを強く伝えながら活動してきていますが、チーム分けについてはあくまでも現段階での判断であること、春の説明会でもお示した方向性であることを保護者の皆様にご理解いただき、サポートもお願いいたします。

【準備】

9月も招待試合などを予定していますが、まだ続きそうな暑さへの対策も含め「自分で考えサッカーに臨む準備をして欲しい」旨、保護者の皆様からも子供たちにお伝えください。日焼け止めとシーブリーズが必要な際は小野までお知らせください(笑)。(小野 津春)

小 3

【一生懸命プレーをする！】

少しずつではありますが子どもたちのサッカーに対する意欲やサッカーの技術に差が目立ち始めています。最近の意欲のある子どもたちの技術の向上には目を見張るものがあります。指導者としては全員に意欲を持って取り組んで欲しいところですが、かながわクラブのような町のクラブでは、子どもたちがサッカーを始める動機も様々ですし、全員が意欲を持って活動に参加しているというわけではありませんので、なかなか難しい部分もあります。そこで、長い目で子どもたちの成長を期待し、見守らなければならないことが多くあります。

しかし、3年生にもなると頭で考えてサッカーをすることができるようになり、同時に意欲が芽生えてくる子どもも増えてきます。最初は上手な子には全く歯が立たないと遠慮がちにプレーをしていた子どもたちも、頑張れば追いつけると考えられるようになりました。当然、活動への取り組みにも前向きに、意欲

的になってきています。

この時期に大切なのは「一生懸命にプレーをする」ことを評価することです。サッカーの上手、下手は関係ありません。自分のベストを尽くしてプレーをすること、最大限の努力を惜しまないことをきちんと評価します。ともすると一生懸命にプレーをしていても、ミスすると周囲の子どもたちの評価は「何してんだよー」ということになります。もちろんそういう場合には、私は即座に「サッカーしているに決まってんジャン」と言い返します。そうした後で、一生懸命にプレーをしていることをほめて、ミスしたことを励まします。また、文句を言う子には「何をしてほしいのか、何をしたら良かったのか」を教えるように諭します。

一人一人が上手になることが大切なので、指導者としては、一人一人が一生懸命に取り組む土壌を整えなければなりませんし、努力することを尊重する雰囲気作りを心掛けています。

【悔しさをエネルギーに！】

試合に負けて涙を流す子が時々います。性格もあるのですが、感情が素直に表れることは決して悪いことではありません。感情をコントロールすることはもう少し成長してから覚えればよいでしょう。涙の意味は様々あるでしょう。悔しさ、不甲斐なさ、恥ずかしさなど…。

実はこうした様々な感情は真剣に取り組んでいるからこそ、生まれるものなのです。いい加減に取り組んでいれば、悔しさも、不甲斐なさも、恥ずかしさも感じることはないでしょう。一生懸命にプレーした選手にしか味わうことができないものです。もっともっと悔し涙を流してくれる子が増えてくれることを期待します。

そして、悔しさはサッカー上達へのエネルギーにしてほしいところです。子どもたちには、悔しさのあまり冷静さを欠き、乱暴なプレーにはしる傾向があります。その部分にはきちんとプレーキをかけなければなりません。また、必要があれば、試合を止めて話し合うこともします。いずれにしても悔しさは子どもたち

の成長の証であり、上達へのエネルギーでもありますので、上手に見守りたいと考えています。

【残暑が厳しい9月！】

さて、長期予報では9月もまだまだ残暑が厳しいようです。活動時には、熱中症を防ぐためにも、こまめな飲水を心がけています。いっぺんにたくさんの水を飲んでも体の中には吸収されません。こまめに少しずつ水を飲ませるようにしています。引き続き多めの飲み物(1000ml程度)を持たせるようお願いします。(佐藤 敏明)

小 2

今月のトリコロールは少し視点を変えてみます。7月の終わりに私は両親の住むタイに旅行してきました。2回ほど活動をお休みさせて頂きましたが、その中でサッカーをしていたからこそ、かながわクラブにいたからこそ、楽しい時間を過ごせた出来事がありました。

タイでは息子とプールに入ったり、買い物をしたりとリラックスした日々をすごしていましたが、1日だけある人と会う約束をしていました。

それは一昨年まで、『かながわクラブ Top チーム』で活躍していた、『舘 洋介(たち ようすけ)』君です。



写真左が舘洋介選手

彼は私が Top チームを辞めた後に入ってきた選手なので、一緒にサッカーをしたことはなかったのですが、かながわフェスティバルや Top チーム観戦等でお互い顔は知っていました。ただ、挨拶をするぐらいで、話したことはないといった感じでした。

私はタイに行く前に彼のブログを見つ

け、今、タイのプロサッカーリーグでプロ選手として生活していることを知り、そのブログに「タイに行くので食事をしませんか?」とメッセージを送りました。そして、彼は喜んで会いに来てくれました。翌日朝にはチームの練習にも行かせてもらい、チームメイトと一緒に昼食もご馳走になりました。

彼と会った時に感じたことは、先ず礼儀正しく、前を向いて歩いている人だと感じました。また、海外で、一人で、プロ選手として生きている彼はとてもたくましく見えました。恐らく日本人の感覚(恵まれすぎた環境)からすると、あらゆる面で過酷な環境だとは思いますが、彼はプロ選手としての自覚に満ち溢れていました。

タイのプロリーグでは今年から20以上の選手が外国人助っ人として活躍しているそうです。その多くは元 J リーガー等の日本でプロ選手(あるいはそれ相当の)経験をし、解雇等の理由からサッカーをやる場所を求めて来ているようですが、彼は全く逆の状況で、誰の紹介もなく、自分から門を叩いて、タイでプロ選手生活をおくっています。そういう意味で、パイオニアになれる存在であり、是非ともなってほしいと思います。これからも遠い日本から応援していきたいと思います。

彼が『益子さんと話せて、かながわクラブを懐かしく思うことができてよかったです。僕も「かながわクラブ」の代表ということを実感して、今年一年はタイでプロ選手としてがんばります。かながわクラブでは、あきらくん(二木コーチ)をはじめ、いろんな方々にお世話になりました。かながわクラブ(Top チーム)もがんばってほしいです。遠くから応援しています』と言ってくれたことが印象的でした。2年生のみんなも機会があれば、是非、Top チームの応援に行ってもらいたいと思います。

今回初めて話したのですが、初対面からアミーゴ!? (仲間?)のような感覚で、ある意味サッカーは人と人を繋げるのだと、改めて嬉しい気持ちになりました。

た。感謝の気持ちを忘れずサッカーをやっていたら、楽しい出会いがあるんだと思った瞬間でした。

さて、秋から2年生は初の市の公式戦、国際チビサッカー大会が始まりますが、大会に向けてだけの準備ではなく、長〜くサッカーを楽しむために、より一層技術の向上を目指して行きたいと思っています。みんなでがんばりましょう！！

(益子 伸孝)

幼児・小1

【祭りのあとの寂しさ。】

ワールドカップもトリコロールカップも、あの興奮と感動が随分と色あせてしまった感があります。わずか1ヶ月ほど前のことなのに。私自身、仕事の都合で、強い陽射しのもとで身体を動かしたのはこの夏は1日だけ。日焼けした顔・腕も色あせてしまいました。

そんな訳で、8月18日のマリノスとの交流戦は、初の対外試合に臨む子供たちのプレーはもちろんのこと、午後3時からとはいえ、真夏の太陽のもとで身体を動かせる快感を味わうことが出来ました。

【トリコロールカップ】



低学年の部優勝チーム

ご覧になった保護者も多かったと思いますが、2年生・3年生との走力、ボールコントロール、キック力、判断力の差を体感することが出来ました。大人のチームならメンバーの年齢が異なるのは当たり前なのですが、この年代では1・2年生、3・4年生、5・6年生の3つのカテゴリーで公式戦が行われていること

からも、2歳の年齢差は大きな壁となります。しかし、子供たちは試合を重ねるごとにボールに触れる回数も増え、そして何よりも上の学年の子とゲームを楽しむことが出来たと思います。今回は4年後の5年生になってしまうのがとても残念なので、学校の休み時間や放課後に、上級生とサッカーで遊ぶ機会が増えていくことを願っています。

【マリノス・フットボールアカデミー小学1年生交流戦】

初の対外試合(7~8人制:10分1本)を5試合も楽しむことが出来ました。GK(希望者を募りました)と両サイドでボールを受けて攻撃することを意識する2名(これは指名しました)以外は、すべて好きなようにやってごらん、と試合前に伝えました。レフリーを務めたマリノス・スクールのコーチたちの声・指示も優しく・的確なもので、港北小での活動に似た雰囲気の中でゲームを行うことが出来ました。短い時間でしたが、2試合で得点生まれ、5試合中無失点が3試合もありました。

- | | |
|----------|------|
| ①×BITS | 0-0△ |
| ②×海老塚 FM | 0-1● |
| ③×前波 FM | 2-0○ |
| ④×坂本 FM | 0-3● |
| ⑤×服部 FM | 2-0○ |

の2勝2敗1分で、6チーム中3位となりました。

9月に入ってもまだまだ高温・多湿の状況での活動が続くと思いますが、水分補給と体調の変化に細心の注意を払い、この夏を通してまた一つ成長した子供たちに、さらなる刺激、興味・関心、楽しさを提供できるようにしていきます。(浜野/豊田/近江)

Papas

【Comp 関東大会へ】

昨年度神奈川シニアサッカーリーグ四十雀3部リーグで優勝した我々がPapas Compは、神奈川県代表として、関東四十雀サッカー大会に出場します。この関東大会への出場権は、四十雀の

各部の優勝チームが持ち回りで取得しており、本年度は3部優勝のCompが得ました。大会は下記のとおりです。

■名称 第39回関東四十雀サッカー大会

■月日 9月20日(月/祝)

■場所 埼玉県・熊谷スポーツ文化公園

2000年にPapasを創設して以来、10年目にして初めての県代表です。これまでの歩みを振り返ると、まず2005年度にはかながわクラブとして神奈川シニアサッカーリーグ4部リーグに初加盟初優勝しました。しかし、いつも20数名が参加するという状況で、人数があまりにも多いことから、翌2006年度からはRec&Compの2チーム体制としました。かながわクラブというチームはCompが継承して3部に昇格し、Recは4部リーグにかながわクラブレックの名称で新規加盟しました。そして3部に昇格したCompは昇格年度の2006年度に準優勝、そして2007年度は2部リーグに昇格して12チーム中6位と順調にポジションをあげてきました。しかし、2008年度は苦戦が続き、2部リーグ最下位で3部降格となりました。1年での2部復帰を目指して2009年度リーグに臨んだCompは10勝2敗でリーグ優勝を遂げ、見事に2部への自動昇格を決めたのです。

そして、かながわクラブ壮年カテゴリー・Papas 始まって以来の県代表となりました。小学生カテゴリーの父親を中心に結成し、サッカーをするのも初めてという方も多くいる中でのPapasの10年間でした。これからもご支援ご協力をお願いします。そして関心のある方はいつでも門をたたいてください。開いていますから。(茅野 英一)

ヨーガ

【所さんの目がテン！】

皆様ご存知の通り、この夏休み期間中にテレビに出演するという、予想もできなかった事態と相成りました。

ヨーガウエアのモデルになるというお話しやらないにやら、「私のキャラでないし、興味ないし・・・」

と、その手の華やかな世界を避けてきたのですが、今回は、なぜかこんな流れに巻き込まれてしまいました。

なんだか恥ずかしいし、怖いし、自分の出演した番組を見る勇気がなかったのですが、皆様に「可愛く映っていたよ。」とほめていただき、恐る恐る見ました。

おおお！確かに皆様のおっしゃる通り。可愛く映っているみたいな気がする…。実物の何割増しかになっているかも…。恐るべし！テレビメイク！

てことは「伊藤玲子って実際はブスなのか!？」という疑惑がわいてきますが、ま、そのあたりはご愛嬌ですね。

ただ、収録では、もう少しヨーガのことをお話したのに、そのあたりはカットされてしまっていました。これは、残念。

でも、ヨーガはポーズをやることばかりが目立がちだけれど、「呼吸や瞑想も同じくらい大切なんだ。」ということが番組を通して伝わっていたら良いなと思います。(伊藤 玲子)

どれが目印か迷うかもしれません。

目の前のドラッグストアに迷い込まなければいいのですが…。

(内田 佳彦)

理事長の戯言

【お盆です。】

今年は父親が足の痛いことを理由に作業を放棄。代わりに高1の息子に手伝ってもらいました。

母親が切り出してきた竹の枝を払い、ちょうどいい長さに切って、仏壇の前にしつらえたテーブルの両脇に立てます。荒縄で壁から竹を伝ってぐるりと仏壇を取り囲み、その縄にはおずきやごま、栗などをつるします。

残った竹で線香立てと櫛(しきみ)立てを作ります。公道わきに、本来は土を練って作る台の代わりにコンクリートブロックで勘弁してもらい、その脇にそれらを打ち込みます。

きゅうりで作った馬と、茄子で作った牛も完成しました。ご先祖様がたくさんいるので、一度に大勢乗れるように大きめのものにしました。

さ、あとは迎え火です。この火を目印にご先祖様が帰ってきます。馬と牛に乗って。でも、最近では周りが明るすぎて